

WakU²中部支部

人とくるまのテクノロジー展 ONLINE STAGE 2 中部支部企画展示 2021.6.30-7.30



THEME 『自動運転』～自動運転を見て! 触れて! 体験しよう!～

自動車業界は100年に一度の大変革期を迎え、CASEと呼ばれている新しい領域で技術革新が進み、クルマの価値や概念が変わろうとしています。そこで新たな技術領域の情報を広く知っていただくために、中部支部ならではの企画として、人とくるまのテクノロジー展の場を活用し技術情報を発信する「中部支部企画展示」の準備を2020年より進めてきました。スタートアップとなる今年(2021年)は「自動運転」をテーマとしたONLINE展示や実地会場でのブース展示、自動運転デモ車の試乗体験会を企画しました。しかし、新型コロナ感染症拡大の煽りを受け、人とくるまのテクノロジー展の実地開催が中止となり、中部支部で企画していた実地展示も中止となってしまいました。その様な状況下、ONLINE展示会の中で中部支部企画展示を実施しました。

中部支部企画の展示では、「自動運転」の概要とそのシステムを支える中部地区の企業を中心とした関連技術・製品の紹介及び、中部支部の活動を紹介しました。自動運転の概要では①自動運転の定義 ②自動運転の技術構成 ③各社の開発状況 ④自動運転が実用化された社会像 ⑤「自動運転EVワンマイルモビリティ“Milee”(アイサンテクノロジー株式会社様 協賛)」をパネルで紹介しました。自動運転の関連技術・製品の展示は、中部地区の企業6社に展示協力をいただき、四つの分野(図1)に層別して、各社ならではの技術・製品の特長とポイントをパネルと動画で紹介しました。一方、中部支部活動の紹介としては、ポスター・支部事業活動実績一覧・活動事例映像(20年技術講習会)を展示しました。

今後も新しい領域の技術情報を、より多く発信できる展示イベントを旨として活動していきます。

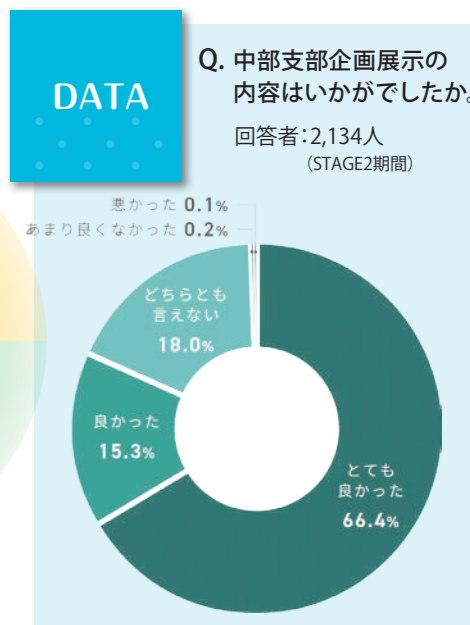
展示分野 [図1]

自動運転の認知分野ではセンサー技術が重要です。道路上の障害物・人など自車周りの認知が可能な光センサー技術(LiDAR)と、環境に影響されずに自車位置を推定する磁気センサー技術(磁気マーカシステム)をご紹介します。

各種情報から車を制御するソフトウェアは自動運転技術の中核をなします。判断分野では、ロボット制御ソフトを応用した自動運転制御技術と、実走行データを収集しソフト開発に活用する評価技術をご紹介します。

認知通信
刻々と変化する道路状況を把握し、判断に繋げるには、高速かつ安定した送受信システムが必要です。通信分野では、インフラ側の信号機情報の提供についてご紹介します。

判断地図
自動運転では自車の位置を正確に認識する必要があります。地図分野では、そのために必要不可欠な多くの情報を含む高精度三次元地図と、自動走行分野における地図データの様々な技術をご紹介します。



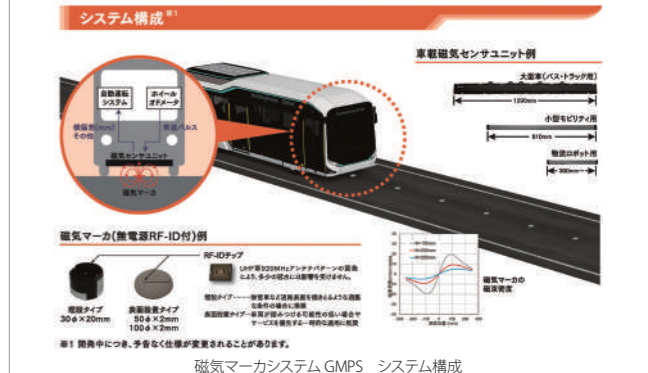
協力企業様の技術・製品展示(抜粋)

展示協力企業 (五十音順) アイサンテクノロジー株式会社/愛知製鋼株式会社/コイト電工株式会社/ パーソルR&D株式会社/萩原エレクトロニクス株式会社/浜松ホトニクス株式会社

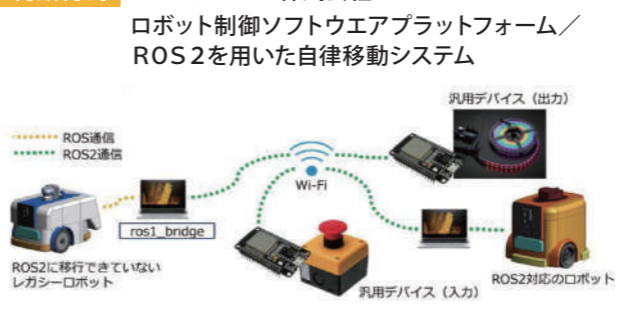
認知分野 浜松ホトニクス株式会社 LiDAR用 光半導体素子



認知分野 愛知製鋼株式会社 磁気マーカシステム GMPS



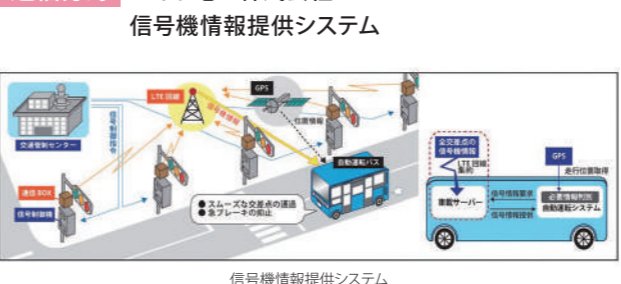
判断分野 パーソルR&D株式会社



判断分野 萩原エレクトロニクス株式会社



通信分野 コイト電工株式会社



地図分野 アイサンテクノロジー株式会社

